

風力発電施設の導入に向けて野鳥保護を考慮したゾーニングのあり方に関する情報収集、調査、普及、提言活動

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23
電話:03-5436-2633
E-mail:hogo@wbsj.org
https://www.wbsj.org/



ひろげる助成
3年目
調査研究



国際シンポジウムの様子

シンポジウム等への参加者数	150人
活動成果の報告	50,000部
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	100%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

活動開始時はゾーニングの策定を試みたが、活動を進めるうちに、センシティビティマップ作りを行うことになった。マップ作りにより地元行政機関の意見を取り入れられなかった。

■ 工夫した点

海外事例収集を進めながらゾーニングに代わるセンシティビティマップの作成手法を探り、環境省で採用された手法を取り入れることで、EADASで紹介されることになった。

課題

日本でも地域環境保全と風力発電導入促進の観点からゾーニングの必要性が指摘されているが、その具体的な進め方が議論されていない日本では、それを実施できる素地がない。

目標

風力発電の導入促進と地域環境保全を考慮したゾーニングの意義や役割、必要性、体系的な方法論が全国の自然保護団体や行政機関等に普及し、独自に取組みが始まる。

活動内容と成果

【シンポジウム等の開催】

海外ゲスト3名を迎えて国際シンポジウムを2018年2月17日(土)に東京都市大学で開催し、環境コンサルタントなど参加者50名に、また、北海道宗谷地域の住民向け勉強会を2月22日に豊富町で開催し、参加者30名に本助成活動を含めセンシティビティマップの国内外事例を紹介した。

【検討会の開催】

2017年11月に北海道豊富町で、2018年3月に東京都内で風力発電に対する鳥類のセンシティビティマップ作りに関する検討会を開催し、マップの作成手法について活発な議論が展開された。



センシティビティマップ作り検討会の様子

全助成期間の活動を振り返って

風力発電の導入に係るゾーニング及びセンシティビティマップ作りの必要性を行政及び一般に高めることができ、実際に国内でマップ作りが進んでいることは、海外の団体からも高く評価された。また、北海道を中心に地域住民や他団体も巻き込んでマップ作りを展開でき、さらに野鳥保護関係者の間でも実際に地域でマップを作りたいという意見があり、風力発電計画が集中する地域における自然保護に貢献することができた。



北海道宗谷地域の住民向けシンポジウムの様子

今後の展望

今後も日本国内の各地域、特にこれから風力発電の導入計画が進むと予想され、かつ野鳥の生息地を有する地域でセンシティビティマップ作りが進むよう、本活動で得たマップの作成手法に関する海外事例や当会での作成事例を積極的に国内に紹介し、また、マップ作成を行いたい団体に協力していく。特に今後は洋上風力発電の本格的導入が進むと予想されるため、データの少ない海鳥のマップ作りにも力を入れていきたい。